

外国語活動学習指導案

学習者 附属小学校2年1組35名
指導者 松下 拓誠 (3/3 モ②)

学習者 附属小学校2年2組34名
指導者 藤井 陽祐 (3/3 モ①)

学習者 附属小学校2年3組35名
指導者 加来 修子 (2/3 モ③)

単元名 学きゅうの友だちと動物シルエットクイズ大会をして、 作品のよさを見つけあおう

1. 単元の目標

シルエットクイズ大会をして、学級の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、生き物の体の部分について、尋ねたり答えたりして伝え合う。

2. 単元について

必然性	学級の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、生き物の体の部分について、尋ねたり答えたりする。
リアル感	シルエットクイズを作って、尋ねたり答えたりするためのキーセンテンスとコミュニケーション
楽しさ	学級の友達とシルエットクイズで交流して、自分の作品のお気に入りの部分を知ってもらったり、友達の作品のよさや工夫を知ったりする楽しさ
相手意識	作品を作った人や、自分の作品を見てくれた人に、お気に入りの部分や感想を分かりやすく伝えようとする意識

3. 言語材料 (下線は新出表現)

○What's this? It's ~. What animal? 体の部分を表す言葉(eyes, ears, nose, mouth, head, shoulder, arms, hands, legs, feet, hip)

[既出] 動物を表す言葉(mouse, cow, tiger, rabbit, horse, sheep, monkey, bird, dog, cat, elephant)

[期待する既習表現] I like~. It's~.形容詞(cute,big) That's right. Close. I don't know.

Wonderful. Fantastic. Good job. Nice try. Don't worry.

4. 該当する学習指導要領における領域別目標と、本校における Challenge リストとの関連

話すこと 〔やり取り〕	中学年外国語活動の 学習指導要領 【CS】	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。
	Challenge リスト 【CL】	(イ) 自分の名前、体調や気分など自分のこと及び動物や食べ物、花など身の回りの物について、聞き取りやすい声の大きさと話したり、動作や表情を交えたりするなど相手に伝わる工夫をしながら話したり聞いたりして伝え合おうとする。

5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やり取り〕	生き物の体について、 What's this? It's~. などを用いて尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	学級の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合っている。	学級の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

6. 「話すこと〔やり取り〕」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画（3時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）	評価			
		知技	思判表	態度	◎評価の観点（評価規準）（方法）
図工	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">色セロハンを組み合わせて、動物を作ろう。</div> ・「色セロハンを組み合わせたたり、切ったりして動物を作ることができたよ。」 ・「自分の作りたい動物ができたよ。友達はどんな作品ができたのかな。自分とはちがうのかな。」 （鑑賞の評価は、図工の時間に学級内で行う。）				
1 モ ①	◆生き物の体を表す英語の言い方に慣れ親しむ。 ○Greeting ○教師モデルの動画を視聴し、本単元最後のコミュニケーション活動の流れを確かめる。 ○単元を通した目標について知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学級の友だちと動物シルエットクイズ大会をして、作品のよさを見つけあおう。</div> ○本時のめあてについて知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">体のぷいぷんを表す言い方になれよう。</div> ○ピクチャーカードを見ながら、HRT と一緒に発音し、生き物の体を表す英語表現に慣れ親しむ。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
モ	○♪オリジナル Body Song を聞いたり歌ったりし				

②	<p>て、生き物の体を表す英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>○ピクチャーカードを見ながら、HRT と一緒に発音し、生き物の体を表す英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>○HRT の話や HRT と数名の児童とのやり取りを通して、生き物の体を表す英語表現を何度も聞いたり話したりする。(生き物の体の一部をアップにした What's this?クイズ)</p>				
モ ③	<p>○♪オリジナル Body Song を聞いたり歌ったりして、生き物の体を表す英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>○ピクチャーカードを見ながら、HRT と一緒に発音し、生き物の体を表す英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>○HRT の話や HRT と数名の児童とのやり取りを通して、生き物の体を表す英語表現を何度も聞いたり話したりする。(生き物の体の一部をアップにした What's this?クイズ)</p> <div data-bbox="225 824 861 1317" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>HRT : (タブレット端末を見せながら) What's this?</p> <p>児童 1 : It's ears. HRT : Yes. What's this?</p> <p>児童 2 : It's hands. HRT : Good. What's this?</p> <p>児童 1 : It's mouth. HRT : Close.</p> <p>児童 2 : It's nose. HRT : That's right. What animal?</p> <p>児童 1 : It's a tiger. HRT : That's right.</p> </div> <p>○HRT のコメントを聞き、学習を振り返る。</p>				
2 モ ①	<p>◆生き物の体を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○Greeting</p> <p>○♪オリジナル Body Song を歌い、生き物の体の英語表現を確かめる。</p> <p>○教師モデルの動画を通して、本時の活動の見通しをもつ。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div data-bbox="225 1697 842 1803" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>体のぶぶんをたずねたり答えたりする言い方になれよう。</p> </div> <p>○ペアでシルエットクイズの練習をする。</p>				<div data-bbox="1125 1803 1444 2085" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価</p> <p>◎生き物の体について、It's～.What's this?などを用いて尋ねたり答えたりしている。 〈行動観察・動画分析〉</p> </div>
モ ②	<p>○♪オリジナル Body Song を歌い、生き物の体の英語表現を確かめる。</p> <p>○HRT と数名の児童のやり取りを通して、シルエットクイズについて尋ねたり答えたりする。</p>				

	<p>○グループ（2～3人）でシルエットクイズについて尋ねたり答えたりする。（1人2分程度）</p> <p>[想定される児童の姿] 児童1：（タブレット端末を見せながら） Hint1. What's this? 児童2：It's feet. 児童1：Yes. Hint2. What's this? 児童2：It's hands. 児童1：Close. 児童3：It's hip. 児童1：Good. Hint3. What's this? 児童2：It's .eyes 児童1：That's right. It's eyes. What animal? 児童2：It's a penguin. 児童1：That's right. It's a “作品名”. 児童2：I like cute mouths. 児童1：Thank you! 児童3：It's good. 児童1：Thank you!</p>	や		や	<p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価 ◎学級の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （行動観察・動画分析）</p>
<p>本時モ③</p>	<p>○HRT と数名の児童のやり取りを通して、シルエットクイズについて尋ねたり答えたりする。</p> <p>○前時とは別のグループでシルエットクイズに取り組む。</p> <p>○伝え合う際の困りを出し合い、次時のやり取りに生かせるようにする。</p> <p>○HRT のコメントを聞き、学習を振り返る。</p>	や		や	<p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価 ◎生き物の体について、It's～.What's this?などを用いて尋ねたり答えたりしている。 （行動観察・動画分析）</p> <p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価 ◎学級の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （行動観察・動画分析）</p>
3	<p>◆学級の友達の作品のよさや工夫を知るために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合う。</p>				

<p>本時モ①</p>	<p>○Greeting ♪Class room English song ○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学びゅうの友達と動物の作ひんについてたずねたり答えたりしよう。</p> </div> <p>○前時の困りを解決するような、友達に尋ねたり答えたりする際に大切なことを出し合う。 ○グループでシルエットクイズの練習をする。</p>			
<p>本時モ②</p>	<p>○♪Class room English song ○HRT と数名の児童のやり取りや前時の振り返りを通して、本單元最後のコミュニケーション活動に向けて大切なことを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○グループ（3～4人）を作り、シルエットクイズ大会を行う。（1人2分程度）</p> <p>[想定される児童の姿] 児童1：(タブレット端末を見せながら) Hint1. What's this? 児童2：It's feet. 児童1：Yes. Hint2. What's this? 児童2：It's hands. 児童1：Close. 児童3：It's hip. 児童1：Good. Hint3. What's this? 児童2：It's .eyes 児童1：That's right. It's eyes. What animal? 児童2：It's a penguin. 児童1：That's right. It's a “作品名”. 児童2：I like cute mouths. 児童1：Thank you! 児童3：It's good. 児童1：Thank you!</p> </div> <p>○ほめ言葉や、それを伝え合う際の困りを出し合い、後半のやり取りに生かせるようにする。</p>	<p>や</p>	<p>や</p>	<p>「話すこと[やり取り]」の記録に残す評価 ◎シルエットクイズについて、相手に伝わるよう工夫しながら、尋ねたり答えたりして伝え合っている。 (行動観察・動画分析)</p> <p>◎自分のことを伝えたり、友達に感想を伝えたりして、相手に伝わるよう工夫しながら、シルエットクイズについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (行動観察・動画分析・振り返りシート記述点検)</p>

モ ③	<p>○前時とは別のグループを作り、シルエットクイズ大会を行う。</p> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>児童1：(タブレット端末を見せながら) Hint1. What's this?</p> <p>児童2：It's feet.</p> <p>児童1：Yes. Hint2. What's this?</p> <p>児童2：It's hands.</p> <p>児童1：Close.</p> <p>児童3：It's hip.</p> <p>児童1：Good. Hint3. What's this?</p> <p>児童2：It's .eyes</p> <p>児童1：That's right. It's eyes. What animal?</p> <p>児童2：It's a penguin.</p> <p>児童1：That's right. It's a “作品名”.</p> <p>児童2：I like cute mouths.</p> <p>児童1：Thank you!</p> <p>児童3：It's good.</p> <p>児童1：Thank you!</p>	や	や	<p>◎自分のことを伝えたり、友達に感想を伝えたりして、相手に伝わるよう工夫しながら、シルエットクイズについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (行動観察・動画分析・振り返りシート記述点検)</p>
	<p>○HRT のコメントを聞き、学習を振り返る。</p>			<p>「話すこと [やり取り]」の記録に残す評価</p> <p>◎シルエットクイズについて、相手に伝わるよう工夫しながら、尋ねたり答えたりして伝え合っている。 (行動観察・動画分析)</p>

7. 本時の指導 (授業者 加来 修子)

単元名	生きゅうの友だちと動物シルエットクイズ大会をしよう 2/3時間 モジュール③
本時のねらい	生き物の体の部分について、グループで動物シルエットクイズを出し合ったり作品の感想を伝え合ったりする活動を通して、What's this? It's~.などを用いて尋ねたり答えたりすることに慣れ親しむようにする。
(評価規準)	※本事案に位置付ける
具体的な児童の姿	生き物の体の部分について、尋ねたり答えたりし合ったりすることに慣れ親しんでいる姿。 「What's this? It's~.を使って、動物シルエットクイズを出したり答えたりできた。」

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価(方法) ※支援を要する児童への手立て
2分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>体のぶぶんをたずねたり答えたりする言い方になれよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童と本時のめあてを確認する。 自分が意識するポイント(アイコンタクト、クリアボイス、笑顔など)をロイロノートに位置付けさせる。
10分	<p>Activities</p> <p>○前時とは別のグループをつくり、動物シルエットクイズに取り組む。</p> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>児童1:(タブレット端末を見せながら) Hint1. What's this? 児童2: It's feet. 児童1: Yes. Hint2. What's this? 児童2: It's hands. 児童1: Close. 児童3: It's hip. 児童1: Good. Hint3. What's this? 児童2: It's .eyes. 児童1: That's right. It's eyes. What animal? 児童2: It's a penguin. 児童1: That's right. It's a “作品名”. 児童2: I like cute mouths. 児童1: Thank you! 児童3: It's good. 児童1: Thank you!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 途中、中間指導を設定し、おすすめのほめ言葉や、それを伝え合う際の困りを出し合い、全体で共有することで、後半のやり取りに生かせるようにする。 グループでのやり取りの工夫が見られない場合は、教師モデルを見せたり、工夫しているグループにやり取りをしてもらったりして、ジェスチャーや繰り返し等も意識させる。 ※生き物の体の部位について尋ねたり答えたりする言い方に困っている児童には、一緒に言い方を確認したり、HRTの後に繰り返して発話したりするようにして、生き物の体を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しめるようにする。 ◎生き物の体について、What's this? It's~.などを用いて尋ねたり答えたりしている。 (行動観察) ◎学級の友達の作品のよさや工夫を知ったり、自分の作品のお気に入りの部分を伝えたりするために、相手に伝わるよう工夫しながら、生き物の体について尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (行動観察・振り返りシート記述点検)
3分	<p>Comments</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○HRTのコメントを聞く。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> HRTは児童の振り返りを見取り、単元ゴールに向けての目標や本時の自分の成長などを伝え合っているかを確認する。 児童と振り返りを共有し、次時の見通しをもつことができるようにする。

7. 本時の指導 (授業者 藤井 陽祐)

単元名	学級の友だちと動物シルエットクイズ大会をしよう 3/3時間 モジュール①
本短時間学習のねらい	生き物の体について、グループで動物シルエットクイズを出し合い、作品の感想を伝え合う活動を通して、相手に伝わるよう工夫しながら、尋ねたり答えたりして伝え合うようにする。
(評価規準)	※本事案に位置付ける
具体的な児童の姿	生き物の体について、相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりする姿。 困った表情の友だちに「ジェスチャーを使って答えることができた。」 「3つのヒントを、相手の目を見ながら伝えることができた。」

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価(方法) ※支援を要する児童への手立て
2分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○♪Class room English song</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の言いやすいスピードに調整しながら、楽しく歌えるようにする。
1分	<p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>学びゆうの友達と動物の作ひんについてたずねたり答えたりしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童と本時のめあてを確認する。
8分	<p>Activities</p> <p>○グループで体の部位について尋ねたり答えたりする。</p> <p>[想定される児童の姿] 児童1:(タブレット端末を見せながら) Hint1. What's this? 児童2: It's feet. 児童1: Yes. Hint2. What's this? 児童2: It's hands. 児童1: Close. 児童3: It's hip. 児童1: Good. Hint3. What's this? 児童2: It's .eyes. 児童1: That's right. It's eyes. What animal? 児童2: It's a penguin. 児童1: That's right. It's a “作品名”. 児童2: I like cute mouths. 児童1: Thank you! 児童3: It's good. 児童1: Thank you!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 途中、中間指導を設定し、シルエットクイズの伝え方が分かりやすかった友達の工夫について尋ね、全体で共有する。 ◎シルエットクイズについて、既習表現やクラスルームイングリッシュを使って、相手に伝わるよう工夫しながら、尋ねたり答えたりして伝え合っている。(行動観察) ※生き物の体の部位について尋ねたり答えたりする言い方に困っている児童には、一緒に言い方を確認したり、HRTの後に繰り返して発話したりするようにして、生き物の体を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しめるようにする。
3分	<p>○友達と尋ねたり答えたりする時に大切なことを確認する。</p> <p>[想定される児童の姿] ・ジェスチャー 大きく ・アイコンタクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中間指導で共有したことの中から、自分のやり取りに取り入れられた工夫を共有し、友達と尋ねたり答えたりする時に大切なことについて、考えを広げられるようにする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスルームイングリッシュ(緑) ・伝わっているかどうか、OK?などを聞いて確かめる。 ・繰り返し ・すきなところ ・ほめ言葉 	
1分	<p>Comments</p> <p>○HRT のコメントを聞く。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と振り返りを共有し、次時の見通しをもつことができるようにする。

7. 本時の指導 (授業者 松下 拓誠)

単元名	学びゅうの友だちと動物シルエットクイズ大会をしよう 3/3時間 モジュール②
本時のねらい	生き物の体について、グループで「動物シルエットクイズ」のクイズを出し合い、作品の感想を伝え合う活動を通して、相手に伝わるように工夫しながら、尋ねたり答えたりして伝え合うようにする。
(評価規準)	※本事案に位置付ける
具体的な児童の姿	生き物の体について、相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりする姿。 「ジェスチャーを使って答えることができた。」 「3つのヒントを、相手の目を見ながら伝えることができた。」 「I like～. It's～.を使って、友達の良い作品のよさを伝えることができた。」

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価(方法) ※支援を要する児童への手立て
2分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○♪Class room English song</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の言いやすいスピードに調整しながら、楽しく歌えるようにする。
1分	<p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>学びゅうの友だちと動物の作ひんについてたずねたり答えたりしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童と本時のめあてを確認する。
2分	<p>Activities</p> <p>○前時の活動を振り返り、友達と尋ねたり答えたりする時に大切なことを確認する。</p> <p>[想定される児童の姿]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャー 大きく ・アイコンタクト ・クラスルームイングリッシュ(緑) ・伝わっているかどうか、OK?などを聞いて確かめる。 ・繰り返し ・すきなところ ・ほめ言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・HRT は児童から出された工夫を再提示し、前時の学習を振り返るようにする。 ・ダイヤモンドランキングを用いて、自分の試したい工夫の中で、優先度の高いものを選べるようにし、活動中に活用したい表現などの見通しを持つるようにする。
7分	<p>○前時とは別のグループをつくり、シルエットクイズに取り組む。</p> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>児童1：(タブレット端末を見せながら) Hint1. What's this? 児童2：It's feet. 児童1：Yes. Hint2. What's this? 児童2：It's hands. 児童1：Close. 児童3：It's hip. 児童1：Good. Hint3. What's this? 児童2：It's .eyes. 児童1：That's right. It's eyes. What animal?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・途中、中間指導を取り、うまくいった工夫や、伝え合う際の困りを出し合い、全体で共有することで、後半のやり取りに生かせるようにする。 ◎既習表現やクラスルームイングリッシュを使って、相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりしている。(行動観察) ※相手に伝わる工夫について悩んでいる児童やペアには、自分の使いたいクラスルームイングリッシュや反応はどんな時に使うのかを確かめ、HRTの後に繰り返すなどして、尋ねたり答えたりする活動に親しめるようにする。

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>児童 2 : It's a penguin. 児童 1 : That's right. It's a “作品名”. 児童 2 : I like cute mouths. 児童 1 : Thank you! 児童 3 : It's good. 児童 1 : Thank you!</p> </div>	
3分	<p>Comments ○本時の振り返りをする。</p> <p>Greetings ○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 中間指導で共有したことの中から、自分の試した工夫を振り返り、うまくいったことや友達のよかった点を確認、次回使ってみたい工夫を考える。 • 児童と振り返りを共有し、次の見通しを持つことができるようにする。